

平成22年度
交通事故被害者サポート事業報告書

内閣府政策統括官(共生社会政策担当)付

交通安全対策担当

ま え が き

昨年、道路交通事故によって24時間以内に亡くなられた方は4,863人となり、10年連続して減少しました。また、発生件数及び負傷者数も平成16年をピークに減少しています。しかしながら、約90万人の方が道路交通事故により死傷されているという厳しい状況が依然として続いております。

平成23年度から始まる新たな「交通安全基本計画」においても、道路交通の安全確保のために講じる施策の8つの柱のひとつとして「被害者支援の推進」が掲げられ、自助グループの活動等に対する支援を始めとした被害者支援の充実強化を図ることとしております。

新たに交通事故の被害に遭われる方が日々増加する中で、交通事故は、いつ我が身に振りかかってもおかしくない非常に身近な出来事といえます。そして、ひとたび交通事故が発生すれば、被害者やその家族・遺族の方々は深い悲しみや辛い体験を長い間抱えながら生活することとなります。

本事業は、交通事故により深い悲しみや辛い体験を抱える方々が立ち直り、回復に向けて再び歩み出すことができるような土壌を醸成するとともに、その方々の権利・利益の保護を図ることを目的として実施してまいりました。

本事業により、少しでも、交通事故の被害者やその家族・遺族の方々への支援の輪が広がり、国民が互いに支え合い、安全で安心して暮らせる社会の形成の一助につながれば幸いです。

最後に、本事業に御尽力いただいた委員の先生方や関係各位に、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

平成23年3月

内閣府政策統括官(共生社会政策担当)付
交通安全対策担当参事官 安部 雅俊

目 次

第1章 平成22年度事業の概要	1
I. 目的.....	1
II. 事業の概要.....	1
III. 事業の内容.....	1
第2章 検討会	2
I. 目的.....	2
II. 事業内容	2
III. 委員.....	2
IV. 開催概要	3
第3章 自助グループ連絡会議	4
I. 目的.....	4
II. 参加者	4
III. プログラム.....	5
IV. 自助グループ連絡会議 第1日目（平成22年10月26日（火））	7
1. 講演：交通安全対策の現状と課題.....	7
2. 講演：ネットワークにおける自助グループ活動の意義	7
3. 各支援センターからの報告	7
4. グループ討議.....	13
V. 自助グループ連絡会議 第2日目（平成22年10月27日（水））	17
1. 自助グループの進め方	17
2. 模擬自助グループ.....	21
3. 自助グループに参加する意義と支援センターに希望すること.....	24
第4章 各種相談窓口等意見交換会	25
I. 目的.....	25
II. 概要.....	25
III. 体制.....	25
IV. プログラム.....	26
V. 実施.....	27
1. 福岡県各種相談窓口等意見交換会.....	27
2. 福島県各種相談窓口等意見交換会.....	29
3. 滋賀県各種相談窓口等意見交換会.....	31
4. 神奈川県各種相談窓口等意見交換会	33
5. 岐阜県各種相談窓口等意見交換会.....	35
6. 鳥取県各種相談窓口等意見交換会.....	37

第5章 交通事故被害者の支援 - 自助グループ支援マニュアルの改訂及び別冊の作成・配布 -	39
I. 目的.....	39
II. 概要.....	39
III. 成果物.....	39
IV. 配布先.....	39
第6章 交通事故被害者の子弟に対する支援の実態に関する調査	40
I. 目的.....	40
II. 調査方法.....	40
III. 調査対象者.....	40
IV. 配布数、回収数、回収率.....	41
V. 調査概要.....	42
VI. 調査結果.....	43
1. 回答者の属性.....	43
2. 事故から現在までの様子について.....	47
3. 現在の感情について.....	53
4. 事故状況の説明（告知）について.....	59
5. 交通事故被害者の子弟を対象とした支援について.....	63
6. 子どもに接するうえで困難に感じたことについて.....	75
第7章 総括	90

資料編：交通事故被害者に対するアンケート調査票